

広報



わしま

—人口の動き—
 11月末現在
 ()は10月末との比較
 出生7人 死亡8人
 転入6人 転出9人
 世帯数 1,286世帯(+1)
 男 2,835人(-1)
 女 2,902人(-3)
 計 5,737人(-4)



今回登場の小田嘉代子さんは
 両高の小田義和さん(和島村役
 場産業振興課勤務)の奥さんで
 す。「嘉代子」さんは、結婚さ
 れて四年。出雲崎町役場に勤務
 されています。

—出身地は?—
 出雲崎町羽黒町です。

—恋愛結婚ですか?お見合い
 結婚ですか?—
 お見合いです。交際期間が三
 年四ヵ月もありました。



—出雲崎町からのお嫁さん—
 小田嘉代子さん (両高)



春 新

●主な内容
 2頁～3頁…新年のごあいさつ
 4頁～5頁…カメラスポット、選挙結
 果、村長室の黒板
 6頁～7頁…ワシマスポート、リーダ
 ー登場、時の人
 8頁～17頁…家庭の日の作文
 18頁…ハッラッ奥さん、うぶごえ、お
 くやみ、温故知新

今年はネズミ年

今年(昭和59年)は十二支の「一番手」ネズミの年です。
 十二支にはトラとカウツとカ
 立派な動物も多いのに、なぜネ
 ズミがトップバッターなのか。
 これは昔、中国で時刻や方角
 を表わすのに用いた子(し)、丑
 (ちゆう)寅(いん)……の十二の
 方位に、それぞれ動物を当ては
 めたことによるものだそうです。

—ダンナさんはどんな人?—
 誠実で優しく、思いやりのあ
 る人です。(ウフフツ)
 —ダンナさんに望むことは?
 健康に注意して欲しいです。
 —将来の生活設計は?
 子供は女の子二人欲しいです。
 (隣でダンナさんは、「男の子と
 女の子が欲しい!」そして、明
 るく健康的で笑顔の絶えない家
 庭を築いて行きたいですね。

—和島村の感想は?—
 とても良い所です。みんな気
 持ちが素直で温かみがあります。
 小さな村にしては、大きな企
 業があり地元で働けますし、野
 球場・プール等若者が定着でき
 る総合的な環境整備も進んでお
 りますし……。

—嘉代子さんは、スポーツが大
 好きで特に、バレーボールは周
 囲からも定評があります。また
 ダンナさんの義和さんも野球で
 は村内の第一人者。
 「一日あつた出来事を二人で
 夜話し合ってますよ。」と四年過
 ぎても新婚ムードが消えないア
 ツアツ奥さんでした。

温故知新

拝領の薬医門 (長岡市西福寺脇門)

昭和三十八年十二月十日
 の新潟日報の文化欄に
 与板長命寺の前波善学師
 が、「昨年長岡市寺町西
 福寺に再建された薬医門
 は、元与板藩牧野家の遺
 物ではないか。」との一文
 を発表された。

その後ある機会に西福
 寺住職に逢った時に聞い
 た折、「その通りだ、も
 とは小島谷の久須美家が
 拝領されたものを越路町
 中沢の山本家が買受けた
 ものが、三十六年の風害で倒
 れていたのをここに移して建
 て直したもので、拝領と書か
 れた安政六年のものと、天保
 十年山本家のものと、由緒を
 書き加えて三枚の棟札が梁上
 にある。」との事であった。

薬医門とは文字からみて、
 医師の通用門だとする人もあ
 るが事典によると、「構造は
 本柱が門の中心点から前方に
 ずれていて、本柱と控柱を結
 ぶ桁の中間に束を立て切妻屋



西福寺

根をのせてあるもので、桃山
 時代に始まり、元来は城門の
 一種で(矢喰が語源か?)今
 は寺門に多い」とある。

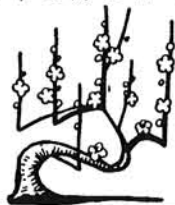
付近には辺張の蓮念寺の門
 及び、分水町の常昌寺に五千
 石旧平沢家の門を移築したも
 のが残っている。

つづく
 久須美熊三郎氏より

訂正 前号学塾の名「鳴谷館」



謹賀新年



新年のごあいさつ

和島村議会議長
久須美 逸郎

明けましておめでとございます。村民の皆様そろってお健やかに新春の夜明けをお迎えにされたこと心からお喜び申し上げます。さて、「一年の計は元旦にある」と申しますが皆様におかれましては、今年昭和五十九年をどのようにお過ごしになれるかすでに充実したプランが出来上がった事と御拝察いたします。私も日々これ好日であれと願っております。しかし、それはなんと申ししても健康が第一条件ではないでしょうか。年頭に当って昨年を振り返って見ますと、議長就任以来五カ

月、大過なく務めさせていただきました事は、偏に、村民皆様の暖かいご支援と御協力があればこそと初心にかえる縁といたしております。本年は、昨年にも増して厳しい財政事情が予想され、色々の課題を抱えた年ではありますが「住民中心の和島村」の旗じるしをあまりなく進めながら、くる年も身を律する努力を惜しまない所存であります。この一年も村民の皆様におかれましては、ますます御壮健であられますことをお祈り申し上げます。また、議会を代表いたしますして新年のご挨拶といたします。

- * 和島村議会
- * 和島村農業委員会
- * 和島村教育委員会
- * 和島村監査委員
- * 和島村選挙管理委員会
- * 和島村固定資産評価審査委員会
- * 和島村特別土地保有税審議会
- * 和島村防災会議
- * 和島村水防協議会
- * 和島村学校林運営委員会
- * 和島村交通指導員
- * 和島村交通対策協議会
- * 和島村総合開発審議会
- * 和島村民生委員推薦会



発展を祈念して

首都圏ふるさとわしま会
会長 宮田 清一

ふるさと・和島村の皆様、あけましておめでとうございます。今年で「首都圏ふるさとわしま会」もお陰様で四年目を迎えました。これも偏に村当局並にふるさと和島を心から愛する会員皆様方のお力添えの賜物と、役員一同深く感謝致しております。さて、「首都圏ふるさとわしま会」の早川会長は会発足以来、その重責を担ってまいりましたが、この度健康上を理由に勇退されることになりました。もとより役員一同、再三再四にわた

- * 和島村国民健康保険運営協議会
- * 和島村農用地利用増進推進協議会
- * 和島村農業振興地域整備促進協議会
- * 和島村農業生産推進対策協議会
- * 和島村新農業構造改善事業推進協議会
- * 和島村農地流動化推進員
- * 和島村造林推進協議会
- * 和島村地方産業育成資金融資委員会
- * 和島村社会教育委員会
- * 和島村文化財調査審議会
- * 和島村体育指導委員
- * 和島村公民館運営審議会
- * 和島村青少年問題協議会
- * 和島村心身障害児就学指導委員
- * 和島村社会教育推進員

手をかそうちつちな子供とお年寄り

整った環境, ふれあう心—

夢がふくらむ村づくり!



和島村長 清野 精一

世間のいっしょに

明けましておめでとございます。皆様がそろってお健やかに新年をお迎えになったことを心からお慶び申し上げます。今年の干支は、十干十二支それぞれの筆頭の組合せ、甲子(きのね)年であり、これから何かが始まると希望の持てる年になりそうであります。年頭に当って昨年を振り返って見ますと、正月気分も漸く抜けて、さてこれからという二月上旬、B & G プール建設の朗報に始まり、わし音頭も早々と遠藤先生から作曲、振付けのお約束を頂き、郷土色豊かな歌詞も得て、プールは七月下旬オ

ーブンし、音頭は八月、先生の司宰の下に発表会を開くことができました。村祭りも親善大運動会も、天吾れに味方して素晴らしい盛り上りを見せました。このような順調な進行とは裏腹に、低温な気候は七月中旬迄続き、遂に登熱の機を失した米づくりは、前年比二割の減収となった事は誠に遺憾でありました。お約束した道路改良整備はほぼ完了し、幼稚園建設、桐小プール設置、島小プール用地造成と教育施設整備が主となりました。村民各位並びに村議会の御理解と御協力に深く感謝申し上げます。さて本年はどうでしょうか。

第二次オイルショック以降呻吟低迷している我国経済は極めて深刻であります。最新の情報では、国際的には景気の上昇気運が芽生え、関連して国内の貿易内需共に伸展すると予測されています。しかし、即地方財政好転の材料にはならないようであります。公共投資は五十八年度にも増して補助事業削減の度会は大きく更にきびしい年になる見込であり、従って村財政は五十八年以上にきびしいものと考えます。第二次総合開発基本構想に定めた年次計画に基いて島小プール建設の実施のみに止め、財政調整年と定め累積した村債の償還に意を払う所存であります。その他四月から開園する幼稚園は義務教育に準じ一般財源を投入して低年齢教育の実践をすすめる考えであります。また民生安定の一環として精神障害者を抱える家庭に対しての医療費補助の途を村費単独で開きたいと考えております。

次に来るへの展望として眼を二十一世紀に向けて想をこらすことが必要であります。新幹線の開通以来その影響は県下全般に及び、越後線の電化も四月には運行となり、一一六号バイパスも本年落水橋拡中改良工事着手の運びとなり、未発表四、五料も本年中に示されることを期待し努力したいと思っております。このように広域性の交通条件整備に合せ村内環境整備に重点をおかなければなりません。本年から設計協議に入る農村総合整備モデル事業及び定住促進事業の推進であります。十年及び五年の長期に亘る事業であります。村内のアンケート等を通して要望度の強い集落排水を柱として事をすすめてまいります。何れに致しましても機会ある毎に申しあげておりますが、澄んだ水、きれいな空気、緑いっばいの環境を大切にして、此処に住む人々の心のふれあう場と機会をつくり暖い郷土づくりにせいで出した時に、青少年に非行なく、働く人に活力を与え、社会の先達高齢者の方々に生き甲斐のある毎日が到来すると確信いたします。それが二十一世紀に向けての夢であると信じます。

健康で築くわが村わが家庭

ふるさとわしま会総会

イヤーツ 久しぶり!



今年で第三回目をむかえる「首都圏ふるさとわしま会」の総会が、十一月二十三日、東京芝公園の「留園」で開催されました。当日は、百五十名程の会員の方々が出席され、村からは村長をはじめ正・副議長、総務・産業土木委員長、商工会長、島田・桐島地区農協組合長、久須美・池浦酒造会社々長等が出席されました。

み、どのテーブルも肩をたたきあったり楽しい風景が見られ、話に花が咲いていました。宴が絶好調になったころ、つぎつぎと歌が飛び出し、盛会のうちに終了いたしました。閉会后、両農協と両酒造会社で用意していただいた故郷のお酒とコシヒカリのお米をお土産として一人ひとり配られ、故郷のかおりに皆喜び、来年の再会を誓い合って解散いたしました。



名調子

かわいい参加者も!

田村公民館長再任される

去る十一月七日に開催された、和島村教育委員会定例会において、和島村公民館長に田村一彦氏が再任されました。
住 所/下富岡五四三番地
生年月日/大正十二年四月十八日

選挙結果

去る十一月十八日に行われました衆議院議員総選挙の和島村における結果は、次のとおりです。

◎選挙当日の有権者数

男 二、〇六三人
女 二、二〇三人
計 四、二六六人

◎投票者数および投票率

男 一、八五六人……八九・九七%
女 一、九二六八……八七・四三%
計 三、七八二八……八八・六五%

◎候補者別得票数(届出順)

村山達雄	四三五票
小林進	八五五票
桜井新	二三八票
野坂昭如	九〇票
丸山久明	四一票
田中角栄	一、七八〇票
渡辺秀央	二七八票
岡崎圭介	三六票
影山次郎	〇票

大盛況 第三回 首都圏

カメラ スポット



村長室の黒板から

和島村長 法生 裕彦

十一月十九日 村の商工振興について商工会々長以下幹部の方々と意見交換を行う。総務、企画、産振の各課長同席

二十日 新県庁の隣地に建設が決まった新自治会館の地鎮起工式に参列

二十二日 明年度予算編成について各課長提出の事業について説明を受け検討を行う

二十三日 第三回首都圏ふるさとわしま会総会に参列。今回は明日の国会陳情を兼ねるので議長さん以下常任委員長も特に参加される。商工会長、両農協長並びに両酒造会社々長参加。会するもの百五十人。こしひかり、清泉、互尊が提供され故郷の味を楽しんで貰いました。

二十四日 議会の方々と三区選出国会代議士事務所を訪問し明年度公共事業陳情

二十五日 群馬県中之条町農協役員三十人が新農構事業視察の為来村。島崎老人クラブ総会出席。夜北野で村政

懇談会

二十六日 民生委員協議会、任期最終の会議に出席。労を謝す。

新潟博成功感謝の会出席

二十八日 三校PTA連絡協議会

二十九日-十二月二日 在京 全国町村長大会に合せ、公立文教施設促進大会、全国治水大会等関係会議大会に参加

三日 総選挙告示、前議員選挙事務所へあいさつ

八日 年末区長会議。終つて慰労の小宴を設く。

九日 長岡耕地協議会。終了後県庁地方課へ財政の件で

十日 予算編成方針説明会

十一日 駅前老人クラブ出席

十五日 心配ごと相談初会議

雑感(一年を顧みて)

今年もまた師走も半ばとなりました。癸亥(みづのとい)の干支に因んだ物量感のある年ではなかったが大きな災害もなかった。然し冷夏の為に前年の豊作に比べて、大減収の米づくりの年となりました。テレビの「おしん」にあやかっつて、耐える心をつくす。耐えるにも限度を感じず年でもありました。BGプールに桐小プールが出現し、わたしの堤に船も浮びました。

村祭にわしま音頭の歌が和して華やかにおどりの足も軽やかに進みました。教育政策重点の国の政策に歩を合せ、来年四月から幼稚園教育が行われるよう、園舎建築も順調に進んでいます。

景気も来年度は上向き軌道にのると報道されています。来年こそよい年になるよう祈つて年末のあいさつといたします。

☆ スポット ☆

クリスマスパーティー 盛大に開催!



十二月二十四日(土)総合福祉センターにおいて、青春ふれあい広場の主催と和島村青少年育成村民会議の後援で「クリスマスパーティー」が開催されました。当日集まった青年達は五十名。事務局の予想より多くの若者達が参加いたしました。

レクリエーションダンス、軽食パーティーと二時間、楽しく、そして、若者らしくさわやかに過ごしました。

事務局では、これからも若者達の集う場を計画する予定ですので、多くの方からの参加を希望します。とのことでした。

☆ ワシマ

「恒例」和島剣道教室 「モチツキ大会」

恒例の和島剣道教室のモチツキ大会が、十二月二十五日(日)稽古納めを兼ねて行なわれました。

稽古と試合を行ったせい、チビツ子の中にはモチを七、八個も食べる子供が続出。お父さん、お母さん達は、驚きと心配とが入り混じった複雑な表情をしていました。



～幻の米「亀の尾」から 幻の吟醸酒を造る人～

久須美記廸さん (中小島谷)

時の人



幻の米「亀の尾」の種もみを探し求め、その吟醸酒造りを夢みて三年。この秋その夢を現実にした人がいる。中小島谷の久須美酒造(株)専務久須美記廸さんがその人です。久須美さんは、老杜氏から「今は絶滅した亀の尾の話聞いて口マンを感じ、いても立つてもいられなくなつた」と言うのが事の始まりだそうです。亀の尾は、かつて新潟県から東北にかけて作られた代表的な酒米で、品種改良が進んだ結果姿を消し、新潟県の最後の栽培は中魚沼郡の津南町だそうです。

(昔、「亀の尾」で吟醸酒を造ったが、後にも先にも一番優れていた。あの味が忘れられない)

「越後杜氏の長老河合清氏(八一)の述懐である。この「亀の尾」とは、明治二十六年、庄内地方の篤農家阿部亀治翁が発見・育成した米で、「不世出の名品種」と謳われて、戦前は東北地方全域で栽培され、作付面積も最大を誇っていた。

それまで「東北地方では絶対に旨い米は取れない」と決めつけられていたが、この「亀の尾」の出現で日本の稲の歴史が変わったのである。それが近年すっかり姿を消してしまつたのは、病害虫に弱く、倒伏しやすい為であった。現在でも「亀の尾」をたどれば「亀の尾」に尽きあたる。この米を千五百粒の種籾から社員と共に小島谷の田んぼで育てて三年、約半世紀近い歴史の空間を超えて、今ここに純米吟醸酒「清泉・亀の翁」として甦えさせました。これは大変意義深い酒であり、名酒米は永久に不滅です。

リダ登場!



われら仲間シリーズ⑧

和島村体育協会

剣道クラブ

イヤーツ・オメン! 凄じい気合いが体育館いっぱい響き渡っております。

「和島剣道クラブ」は現在男子十八名、女子十三名。数々の戦歴は紹介するまでもなく、長い歴史のもと県下はもちろん、全国的にも「剣道和島」として知られております。練習は毎週火曜日と金曜日、「和島剣道教室」(七十名)の子供達の指導が終ってから行っております。現在は、クラブ員の段位が高くなり試合の段位制限等の関係から



主将：和田正巳さん

年間試合数を極力抑え、小中学生の指導に重点を置いた練習を実施しています。昨年中学生は郡・中越両大会を勝ち残り、十数年ぶりの県大会出場を果たし、かつての北辰中学校剣道部を再現してくれました。また、子供達の送迎をしていたお母さん達や剣道に興味を持った若い女性達が「美容と健康」のため?子供達に混じって練習を始め、昨年見事に七人が昇段審査に合格し、女子クラブ員として子供達の稽古台になっていきます。

それぞれ仕事を持っている関係上クラブ員全員が一同にそろう機会は少ないですが、栃尾市や新津市等他の剣道連盟と交流稽古を年一、二回程度行ない、子供達の指導上の問題点等意見を交換する場を通じ、和島村において「剣道を通じ心身共に健康な身体を作る」を目標に、精神的・肉体的にも健全な青少年育成の一助になればとクラブ員一同一丸となって指導にあたっております。

家庭の日の作文

(和島村青少年育成村民会議)
(和島村教育委員会)



おかあさんの一日

桐島小学校一年 かせゆうこ

おかあさんは、いつも立ちしごとをしています。おかあさんはタオルをあらいます。おきやさんとおはなしをします。おかあさんはおきやくさんのけをきつて、それからあたたまをあらいます。あたまをあらいおわつてかおをそります。おきやくさんがかえるとおきやくをはじめます。

「こうやおそんで」といいます。あさ子がほいくえんからかえつてくるとおふろのそうじをします。おかあさんはゆうごはんのしたくをします。そして、たべおわるとおさらをあらいます。おさらをあらいおわるとおふろにはいります。おふろにはいりおわるとふとんをしいてねます。

わたしはおかあさんがおみせでけをきるのがたいへんだとおもいます。わたしはこうやのめんどろをみてあげたいとおもいます。

おかあさんへ
おかあさんはしごとの中でどんなしごとがすきですか。こんどタオルをたたむの手つだうからね。

おかあさんは、せんたくやふとんほしやそうじやほしものしごとがあるけど、がんばってね。みせのそうじもがんばってね。

ゆう子より



だいこんとり

島田小学校一年 おおやよしゆき

にちようびに、みんなで、だいこんとりをしました。

おばあちゃんが、ぐらんのそばのはたけで、だいこんのはっぱをもつてぬきました。

おとうさんが、どろだらけのだいこんをりん車にたくさんおせて、こやのそばへはこびました。

それをぼくとおかあさんであらいました。ぼくもおかあさんも、ながぐ

つをはいて、こやのそばの小さな川で、タオルでこすつてあらいました。ぼくがさいしよ、タワシでこすろうとしたら、おかあさんが、

「タワシだと、かわがむけるから、タオルであらえて。せんたくのところにかけてあるタオルをもつてきてあらえ。」

「いいました。」
だいこんを川の中に入れて、おかあさんと一本ずつあらいま

した。いっしょうけんめいあらつていたら、いつのまにか、ぼくのあたまの上くらしいのたかさのだいこんの山ができました。ふたつにふつついただいこんや、小さいだいこんや、ぼくがりよう手でまるをつつくたくらい、ふとつ、ただいこんがありました。

ぼくとおかあさんがせんぶあらつたあとでおとうさんが、こやに二ほんかけてあるたけにほ



いねかりの手つだい

桐島小学校二年 近藤卓也

しました。おかあさんが下から、ぼくにわたして、ぼくがはしごにのぼつて、おとうさんに一ぼんずつわたしました。

ぼくは、はしごのあしをかけるところがこわれていたので、こわかったです。

そのとき、おとうとがきて、「やりたい、やりたい。」と、いいました。それで、おとうとは、はしごにだんのぼつて、ぼくにわたすことにしまし

た。
ぜんぶほしたあとで、だいこんをかぞえたらたくさんありました。いっしょうけんめいおつた

ところまではこんでちようだい。」
おばあさん、おかあさんも、おちやをおいしそうにのんでまた、田んぼへ出て行きました。

九月四日の日曜日、とてもあついでした。おじいさんとおばあさんとおかあさんの三人が山田ごうちの田んぼのいねかりをしました。おとうさんは、のうきようのおしごとでうちのいねかりができませんでした。おとうさんは、毎年あきの、のうさぎようで、いそがしいときは、休みの日がありません。だから、うちのいねかりは、おじいちゃん、おばあちゃん、おかあさんの三人でなくてはならないのです。ぼくのうちの田んぼは、小さい田んぼばかりなのでコンバインが入りません。ですからノコ切りがまでかつて、たばねて、トラックが、あるところまではこんで、トラックにのせいねをかけるはざばまではこびます。そして、いねかけをします。

「ああ、あついな。あんまりあつくてのびそうになったよ。」
おかあさんも、

「ほんとおついな。あせがだらだらです。」
おじいさんが、

「きようは、すごくあついから、のどがかわくよ。だからお茶をたくさん飲んでいこう。」
おじいさんが、

「きようは、すごくあついから、のどがかわくよ。だからお茶をたくさん飲んでいこう。」

「おじいさん、おばあさん、おかあさんの三人は、朝早くいねを、出していねかりに行きました。おにいちやんとぼくが、テレビを見たり、やきゆうをしているとお昼になっておじいさんたちが、田んぼからかえつてきました。

「うん、いいよ。」
と答えましたが、こんなにあついのにいねをはこぶなんてやだなあとおもいました。

「このぶどう、つめたくておいしいなあ。」
とおかあさんがにっこりしていいました。

「このジュース、ひえていておいしいなあ。」
とおかあさんがにっこりしていいました。

「おばあちゃんか、ああ、あついな。あんまりあつくてのびそうになったよ。」
おかあさんも、

「ほんとおついな。あせがだらだらです。」
おじいさんが、

「きようは、すごくあついから、のどがかわくよ。だからお茶をたくさん飲んでいこう。」
おじいさんが、

「きようは、すごくあついから、のどがかわくよ。だからお茶をたくさん飲んでいこう。」



グラタンを作ったこと

島田小学校二年 さとう ゆか

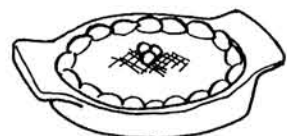
おにいちゃんが「グラタンを食べたい。」といったのできのうの夜、おかあさんとおにいちゃんとわたしでグラタンを作りました。よいするものは、玉ねぎと鳥にくとチーズとおさらです。作る前にチーズを切る、鳥にくをきる、マカロニをまぜる、おさらをよよいする、やく、のどれをするか、おにいちゃんとうたしできめました。わたしは「にくと玉ねぎとチーズを切る。」といいました。おにいちゃんは「かきませたりする。」といいました。わたしもかきませたりすることにしました。少しかみふうせんであそんでから作りました。

やわらかくて、スパスパ切れました。おかあさんが、「かして。」といいつてスパスパ切つていきました。おかあさんは早いなあと思いました。そしてわたしがかきませるグラタンのもとみたいなのを入れました。よくかきませました。マカロニがよくついていたみたいでよくとれませんでした。「おれがやるいや。」

とおにいちゃんがいました。わたしはチーズを六つ分に分けておさらにもりました。おかあさんがグラタンをくれました。そしてやきました。おにいちゃんにはできるまでみていました。やいてからおにいちゃんのりを上にかきました。たべてみたらグラタンのマカロニが少しやきすぎてたみたいでした。

くさんはいつていたのでおいしい。といっていました。おとうさんは、「おかわりがほしいなあ。」といいました。でも、おかわりがなかったのでたべられませんでした。おにいちゃんは、「はがわるいのでやわらかくてとつてもおいしい。」といいながらたべました。おばあちゃんは、「てつだわなくてよかつたのでたすかつた。」といつてたべていました。わたしがたべてみたらマカロニがすこしこけていました。おかあさんは、

「おにいちゃんたちがつづつてくれたのでごほんのしごとが早くできた。」といつてよこんでいました。たべおわつてからみんな、「おいしかったね。」といいました。わたしはグラタンがつくれてよかつたと思ひました。



お父さんの足のけが

桐島小学校三年 早川 華世

さいしよおにいちゃんがコップにいっぱい三ばい水をくんでなべに入れました。そして、玉ねぎを切つていたら、なみだが出ました。おかあさんが「あまり、太く切るなね。」といいました。鳥にくをきろうとおもいました。きつてみたら、

十月の始まりに、はいつてから、少したちました。日曜日、わたしが、家で、国語のテストしていると、お父さん、お母さんが米はこびの仕事から、もどつて来ました。こんどは、弟のよしひろも、もどつて来ました。お父さんと、お母さんがテレビなど、おいてあるへやにはい

つていきました。そして、ふみ台の上が上がつて、絵の書いてある、大きな板をかけたと思つたら、お父さんは、ふみ台から落ちてしまひました。お母さんが、「おにいちゃんおだいじよぶだあ。」といひて、わたしがつづけて

いると、よしひろが、「ねえねえ、お父さんがないたよ。」といつたので、すぐ行きました。だけどもお母さんがすぐ、「あつちについて、テストのつづきをやってなさい。よしひろも、おねえちゃんの所に、いなさい。」

こう言つたので、しかたなくテストのつづきをしましたが、よしひろは、やっぱり、お父さんの近くに行つてしまひました。お父さんは、その日、お母さんのかたに、つかまつたり、いすにつかまつたりして歩いて一日が、終わりました。次の日、お父さんは、びよう院に行つて、三時ごろに帰つて来ていました。足には、せつこうをはめて、ほうたいがまいてありました。まつばづえも、たなの近くに、立ててありました。



おにいちゃんの法事

島田小学校三年 宮田 幹雄

それから、お父さんは、やさしくなりました。でも、あまり、立てないのでたばこなどを、持つて来たりしなければ、なりません。でも、よく、しゆくだいをおしえてくれました。よしひろは、遊んでもらえたので、よろこんでいました。でも、楽しみが一つへつてしまいました。それは、かきをとつてもらえないことです。それに、おじいさまも、おばあさまも、

それに、たまに早くねるので見たいテレビが見れました。お母さんが、「早くおつてね。あんたが、いないと、わたし、早くかわつてほしいよ。」といひて、早くと、言つていました。そして、けがをしてから、だ

ぼくのおにいちゃんは、きよねんの十一月十二日に八十六歳でなくなりました。その日は、大雨で杉のはっぱやかきのはでにわがいつぱいにあれていました。その一年目にあたる十一月十二日にしゆくが行われ、この日も大雨でまるできよ年と同じように庭が、あれてました。でも雨の中、おおせいの親るいの人やおぼうさん、だんかの人がおまいりしてくれました。ぼくも少しきよが悪かつたけれど、一生けん命おまいりをしました。ぼくが、

「おこづかいちょうだい。」といつと、おにいちゃんは、「何につかうんだ。」といつも聞きました。「おやつ。」と答えると、「むだずかいするなよ。」といつてくれました。おにいちゃんは、人に力をかしてもらいたい時、手をパシッ

パシッと二、三回たたいて名まえをよびました。「幹雄。」とよばれると、なんだろうと思つて、走つていきました。へやで遊んでちらかしてると、注意してくれました。なのに、ぼくは言うことをきかなかつたけど、何も言わなかつたです。今ではきちんとあとかたづけができるようになりました。小さいときから、おにいちゃんが注意してくれたおかげだと思ひます。ほうじのこの日、おにいちゃん





家庭での一日のつづみ

桐島小学校四年 早川 淳子

私の家は、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、二人の姉ちゃんと、私の七人家族です。

私の家では、いろいろな仕事を七人の家族みんなで役わりを決め、分たんにやっています。

朝の仕事は、お母さん、おばあちゃん、のり子姉ちゃん、とも姉ちゃん、私の五人です。

お母さんは、自分とお父さんのおべんとう作りと、朝ご飯のおかず作りをします。おばあちゃんはおふろみぎや、茶の間のそうじ、のり子姉ちゃん、トイレそうじとげんかんそうじ、とも姉ちゃん、ろうかのそうじそして、私は、せんたくと茶わんあらいをしています。

私が、せんたくをしていると、お父さんは、

「淳子は、一番いい子だ。」と、言っただけでくれます。

そう言われると、私はうれしくなって、せんたくをするのが早くなります。

でも、今は、寒いからせんたくをするのもらくじやありません。水の中に手を入れると、びくと寒気がして、私は、「おゆでせんたくができたなあ。」と

思います。また、せんたく機が自動ですぎが終ったら、せんたく機が手を出して、だつ水機の中に、せんたく物を入れてくれ

たらなあと思ったりします。お父さんは、たまに、ごみがたまった時、ごみをもやします。

私と姉ちゃんが小学校や中学校へ行くと、お父さんとお母さんも会社へ行きます。

お父さんは、農協の金ゆう関係の仕事をやっています。お母さんは、大こうづの会社で自動はん売機の部品の組立てをやっています。

おじいちゃんと、おばあちゃんは、家でする番をしながら、買い物をしたり畑の仕事をしたりします。

私は、学校から帰って来ると、じゆくのある日は、すぐ行きま

におばあちゃんと、のり子姉ちゃんが、夕ご飯を作ります。夕ご飯が出来ると、お母さんが帰るのを待ちます。

お父さんは、仕事のついでにたまに、おそくなって帰ってくるので、そういう時は、先にご飯を食べます。

ご飯の時は、一日のできごとや仕事のこと、学校のことを話したりしながらにぎやかに食べます。

ご飯のあとかたづけをまた、



わたしの家族

島田小学校四年 小 林 宏子

わたしの家族は、おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、おにいちゃん、わたしの、弟の七人です。みんな元気なので、しあわせだと思っています。

おじいちゃんのしゅ味は、植木をいじること、庭にはいろいろな木が植えてあってよくその

お母さんと、のり子姉ちゃんととも姉ちゃんと、私がやりま

す。女四人で歌を歌ったり、いろんな話をしたりしながら楽しい仕事をします。だから後かたづけの仕事は、あつという間に

終ってしまいます。あとかたづけが終わると、お母さんと私でおふろに入ります。

そして、一日のつかれを落とします。

お父さんと、お母さんはすぐくつかれた時は、八時ごろから

ゆつくりねます。次の朝にはまた、いつもお

り仕事をやらなければならいからです。私は、せんたくの仕事がな

つたらもつとおそくまでねていられるし、テレビもゆつくり見られるのになあと思うことが時々あります。でも家族みんなががんばって、仕事をしているので私も負けないように、がんばらなければならいと思ひ直します。

みんなが自分の仕事をきちんとやるのが明るい家庭を作るために大事ななだと思ひます。

これからも、せんたくや、茶わんあらいの仕事を生けんめいやりうと思ひています。

つとめなので、わたしたち子供のめんどうをよくみてくれます。お父さんは、書道がすきで、前に勤労者美じゆつ展に出品し

て入賞し、賞状をもらったことがあります。今でも、その習字は床の間にかけてあります。だけど、今は会社の仕事がいそ



父の仕事

桐島小学校五年 中島 身 和

私の父は、出雲崎タクシーに勤めています。少し前までは燕市のフジイ農機に勤めていました。でも去年からタクシーの運転手になりました。

私は今まで、タクシーの運転手はいろいろな所へいけるし、車の中は夏はクーラーがきいて涼しく、冬は暖房で暖かいし、わりに楽な仕事だと思っています。

でも、父がタクシ一の運転手になってはじめてタクシ一の仕事は、大変なんだということがわかりました。早出の時はみんながまだ眠っている五時半頃に

もう出勤していきます。母は父を送り出すために、父より先に起きてべん当を作り、準備をします。

夜勤の時には、母は父のおべん当を二つ作ります。そして父

何より大事だと、いつも口ぐせのようにいっています。わたしの家族は、みんな健康で、とても元気なので、これなら元も

気でやっつけていけるように、みんなを教えてもらいたいと思ひます。

なせこんなに遅く帰ってきたのかわからなかつたので、父に、「なんでこんな遅い時間に帰ってきたの。」

ときくと父は、「お客さんが、用事が終るまで待っていてくれと言われたので待っていました。こんな時間になつてしまつたんだよ。」

私は、待つている時、ねむたくなるのをがまんして待つて

なで注意しあいたいと思ひます。おじいちゃんやおばあちゃん

は、昔のことをよく知っているので、長生きしていろんなことを教えてもらいたいと思ひます。

それに、お客様を乗せているので気を遣うし、冬は特にスリッパ事故など気をつけたり、お客様の安全を考えているので、とても疲れると思ひました。

金曜日は父のお休みの日ですが、が、ゆつくり休んでいられず、家の仕事などをしていて

父は、いつも疲れていて大変だと思ひ、かわいそうだと思ひました。私が四年生だった去年の夏のある日、立正佼生会の道場の人達といっしょに街頭募金運動をするために、出雲崎駅前の信号の所に立つていました。そのうち、お父さんの勤めている出雲崎タクシーの事務所へ募金に行

きました。
私は、せっかく父の働いてる所に来たのだから、良く見ていこうと思いましたが、短い時間だったのでよく見られませんでした。父が帰って来てから、父の会社へ行ったことなど、いろいろなことを話しました。



ぼくの家の店のはってん

島田小学校五年 佐藤公一

ぼくの家は、店をやっています。むかしは、小さな店だったそうです。はじめは、今のおじいさんの母が一人でやっていたそうです。むかしなので、少しずつかごに入れてかついで、一けんずつ歩いて売りにいったり、また注文を受けとりに回ったりしたそうです。車も、バイクもなく大変だったなと思います。今ののように、品物の数もたくさんはなかったそうです。それから、今のおばあさんがおよめに来て手伝うようになり、

店を出したそうです。このころ、自転車が入りました。ちよつとは、楽になったんだろうと思います。おばあさんは、自転車にリヤカーをつけて、品物をのせて配達したり、注文をとりにいったそうです。おばあさんもがんばったんだなと思います。品物がたりないときは、今のよう之間屋さんがセールスにこないで、おじいさんは、汽車に乗って、分水のじぞうどうまでとりに行ったそうです。とても大変だったので、ぼくの

協力してがんばっているの、いまのようになごやかな家庭ができたのだと思います。私も妹も、両親のいうことをよくきいて、家の仕事もすすんでやることで、少しでも父や母が楽になれるようにしてあげたいと思います。

明るい家庭をつくるのは、家中の人が協力していかなければならないと思います。

ぼくの店はできてから、七十年くらいがたっています。父と母は三代目という事です。ぼくが店をつげば、四代目ということになるけど、今は考え中です。今はべんりになってこの家でも自動車があるので、少しくらい遠くても安くてよい品物がある長岡や柏崎や分水や吉田まで買い物に行くようです。だんだんと店をやっていくのもむずかしいと、父と母やおじいさん、おばあさんが話しているのを聞きます。おじいさん、おばあさん、父や母が苦労してはってんさせた店、本当に大変だったと思います。ぼくも、もう一度、店のしょうらいとはってんについて考えてみようと思います。



私の両親

桐島小学校六年 吉岡 友紀子

私の父は、和島村の羽入商会というところにつとめています。父の仕事は、主に建築関係ですが、その他にも大変な仕事をいろいろやっています。家に帰ってくるのは、いつも六時過ぎです。遠いところの仕事になると八時か九時ごろ帰ってきます。また、冬の大雪のときなどは、私たちがまだ眠っている間にブルドーザーを動かして、車などが走りやすいように、雪のけもします。そういう父の様子を見ると、家族のために一生懸命に働いている父の大変さが私にも感じられます。

父は、ときどき、仕事の帰りに、おさけを飲んできて、友達をつれてくるときがあります。そんな時、私は少し困ったなあと思うときがあります。しかし、家族のために一生懸命働いている父が、いつも健康であることを願っています。

場へは、小さいころ一度だけ行ったことがあります。母の会社は、大きな建物がたくさんあって、まるで、まるで、テレビで見た大きな工場のような感じでした。母は家に帰ると会社のことなど

どをいろいろ話します。今日やつとストープを出したとか、会社の人が話したおもしろいことを聞かせてくれます。父は家に帰るとあまり話さないけれど、母は、いろいろ話してくれておもしろいです。けれども、おこる時は父よりも恐いです。でも、これは、私たちが良い子にしてくるためなのです。だから、ありがたいと思わなければいけない

と思っています。私も最近、父母に何かときからううううになりました。この作文を書き終った後、すこしの時間忘れていた父や母の良いところをたくさん思い出すことができました。もう父や母にさからわないで、素直な気持ちで尊敬したいと思います。私の大好きな両親ですから。



家庭の日

島田小学校六年 若月 貴文

しかし、私は、実際に父が働いている姿を見たことがありません。他の人が危険な所で働いているところを見ると、父もあんな高いところで仕事をしているのかな、あんな細い木のところを渡って仕事をしているのかな、落ちたりはしないかなあ、と心配に思うことがあります。その反面、高い所で仕事をしている父の姿を思い浮かべるとか

私の母は、分水町の永田精機というところにつとめています。そこでは、くつ下などを織る機械を作っています。母の仕事はその機械の検査を行うことです。機械をいじるといことは、神経を使う仕事なので、大変だと思います。しかし、私の母は、大抵がいで、何でもできる、器用な人なので、この仕事に合っていると思います。

今年、ぼくのうちに、大きなできごとがあった。うれしいことではなく、それは悲しいことごとだった。夏休みのできごとだった。おじいさんが、うちに帰ってくる途中で、坂のところ

入るそうなのです。そしたらおじいさんは、3号室なのです。ぼくは、もうびっくりして心臓が、ドキドキしました。

言われたそうです。でもあいのやな、病気になるないように、おじいさんは酒も飲まないように努力しています。

私は、父の場合と同様に、母の働いている姿も見たことがありません。ただ、働いている姿は見ませんでした。母の仕事

は倍もびっくりしました。聞くところによると、病室1、2、3号室は、特に重い病気の人が

病室の先生は、退院しても酒は、少しぐらい、いいけれど、たばこは絶対にやらないように

ぼくは、今のうちが、一番好

きです。だから、いくまも、今のうちに、みんな、楽しく、食事をしたりテレビをみたりで

きる家庭を、大事にしていきたいと思えます。



家庭を考える

北辰中学校一年 中野理香

家庭の日といっても特別何も

家族と一緒にすることや、時々お

茶を飲むくらいだ。こんな家庭でいいのだろうか。

ここで、一度「家庭の日」というものを、考えてみたいと思う。

家庭の日というのは、家族と一緒に、まとまったことをすればいいと思う。

考えてみると、私の家族は、ケンカも多いし文句もたくさんで

そのとうりまとまりがないので

小学校の時、他の友達の作文や上級生の人の作文などをたくさん読んだが、どこでもとてもまとまりのある幸せな家庭だ。

なぜ私の家だけが、そうなのだろう。

原因を考えてみると、やはり家族の一人一人が、仲良くしようとか、少しぐらい気を使うという

ことをしないのだ。それに、仕事が忙しいせいもある。

祖母は、農業で、畑の手入れやその他に裁縫もやっている。母は、だいたい六時頃帰ってくる

父は、六時頃帰ってくるのだが、このごろ、その他の仕事で、夜はあまりいない。それに加えて、ケンカなどが多いとなれば、まとまるはずもない。

私としては、仕事をかえてくれとか、もうちょっと早く帰ってきてと言わないから、一人一人気を使って、もっと「家庭の日」というものをじっくり考えてみてほしいと思う。母と祖

母は、もう少しおたがいのことを、考えてほしい。

私も母や父とは、なるべくケンカしないようにと思う。

「家庭の日」というのではまだある。家族がそれぞれ分担当

家は、父が主に外の仕事、祖母も外の仕事、母は家の中、私が夕方の清掃と決まっている。



服

北辰中学校二年 久須美大蔵

「一服しねえか。」

この声を聞くとぼくは、勉強を中断して階下へ行く。ぼくの家ではほとんど毎日「一服」をする。なぜこんな話が出てくるかという、家庭の日の作文は小学生のころから書いていて、この作文を書くときぼくはいつも、家族で仕事をしたことや、

私は、毎日の仕事ですが、時々しかやっています。他の人も、自分の都合にあわせてやっています。

だから「家庭の日」とは全く関係ないし、意識もしていないのです。

しかし、これからは、私が中心になって、なるべく家庭の日には、何かやりたいと思つてい

ます。私から声をかけて、「一緒に何かしよう」と言えば反対はしないと思つています。

もう一つ。「家庭の日」に、ふだんできなかった話し合いもやりたいと思

います。例えば、私達中学生はこれか

山登りをしたことなどを書いてきた。ところが今年は、毎年やる冬がこいをぼくは手伝わなかつた。登山はしたがこれは印象が薄くて、わざと大げさに書くのも悪いと思つたからだ。なにを書くか迷つて、しかたなく家族の時間を考えるにしたら、この一服を思いついた訳だ。

夕食の時は父がいない。家族みんなが集まる時間はこの一服の時しかないのだ。一服は勉強時間の途中にあつて、お茶を飲んだり菓子を食べたりする休憩時間だ。お茶はたいいてい母が入れるのだが母がなにかして手が入る。ぼくの考えでは、コ

「ヒーや紅茶がいいと思つて

ののだが、コーヒーは夜、眠れなくなる困るといふし、紅茶は材料がある時が少なく、あつてもみんな飲みたがらないのでめつたにのまない。だからたいいていお茶なのだ。菓子の方は、よい時になるとケーキやシュークリームなんかがある。それから母が作るクレープやホットケーキ、くだものも出ることがある。まんじゅう、せんべえ、ビスケットなどさまざまだ。父や母は、ぼくたちが食べるものに文句をいうと、「せいたくだ。」とか「世の中には食べられない人も多い。」などと言つている



我が家のジョギング父さん

北辰中学校三年 吉川綾子

私の家は六人家族。

家の中で一番早起きの祖母、お腹が出てちよつと貫禄ある父、極端に寒がりな母、一見まじめそうにみえて本当はひょうきんな姉、甘えん坊のくせになまいきな妹、そして根暗と呼ばれる私。

という具合に、男一人、女五人という女ばつかりの家族なの

が本当にその通りだと思つた。

楽しい一服にも困つたことがある。一服をしない日なんてたまりにしかないが、そんな日になるとぼくは何か食べたくなつてしまふ。今まで一服をしてきたからこつなつたのだと思つた。それともう一つ一服を始めるときりがなくなるのだ。時間をむだに使つてしまふことだ。一服は楽しくて時間の調節がむずかしいのだ。ホットケーキやクレープ、これは作るための時間がある。家の一服はみんなが集まつてから何を食るか決めるのだ。つまりぼくらが集まつてから作り出すということになる。

その中で、ただ一人の男である父についてかいてみよう。私の父は、現在四十七歳。はつきりいつてもう「おじん」の部類。甘い物が大好きで、お菓子があつたあつという間にたいらげ

てしまふので、最近ちよつと太りぎみ。

そして食べる物が出来るまでの時間が問題だ。ぼくはいつもこの準備の間、マンガを読んでいる。この準備できるまでの時間がもつたないのだ。この時間を節約するには、勉強をしに行

く前に今日は何を出すか決めておいて、準備が出来てから呼んでもらうということがよい方法だと思つた。

こうして、不都合なところを皆でなおし、より楽しいものにした。一服はとも楽しい時間だ。みんなと話をしたりすることが出来る我が家のたつた一つの時間なので、これからも続けていきたいと思つた。

そんな父が、ある日、仕事が終わつて帰つてくると、いつになくニコニコ顔。

はつきりいつてちよつと無気味。なぜなら、普段あまり愛想のない父が、笑つてたのですから。これは何かあるな、と思つ、私

「これからジョギングに行くんだ。」

とニコニコした返事。これには、家族一同びっくり。もちろん私もびっくり。でも、私がびっくりして「まさか、あのお父さんが。」と思つている間に父は、トレーニン

グウェアを着て、タオルを持って、しつかりジョギングスタイルに。もう走る意欲満々。そしてひと言。「お前も一緒に走らないか。」

私は冗談だとばかり思つていたのに、しつかり走るきでいる父を見てひと言。「いいよ、お父さん一人で走つてきてよ……。」

その日の我が家の夕食の話題といつたら「父がジョギングを始めた。」といふことばかりでした。はつきりいつて私は、「どうせ三日坊主で終わるんだ。長続きなんてするわけがない。」つて思つていたので、今でも続いているのが不思議なくらい。でも、ジョギングを始めて、三日たつても一週間たつてもやる気配がないので、「やつぱり本気だつたんだな。」つて思つた。

何でもやろうつて思つても三日坊主で終わつてしまふ私なので、ジョギングをしようと決めて走つている父は、どこかちやうなつて感心しちゃいました。

最近、父は「お腹が少し小さくなつたみたいだ。」とか「今度はお少し距離を長くしてみようか。」なんて笑つていつています。

そんな父を見ていると、私も今度一緒に走つてみようかな、なんて考えてみます。私、はつきりいつて父が好きではない。

私が父のことを知らずに勝手に嫌いだと決めていたのにな所があるけど。だからなおさら、一緒に走つて親子の交流をもとうか、などと考える今日このごろです。

私の家は、全員が集まつて家族の話し合いをするといふことがないから、「家庭の日」といわれてもピンとはこない。だから、家族みんなで走りながら、話し合いができる明るい家庭といふのに憧れます。これは、私一人の意見ですが、いつかこんな家族になれたらなと思つています。

お知らせ広場



和島幼稚園入園願受付

和島村立和島幼稚園新築工事は順調に進み、予定どおり四月一日開園します。

つきましては、次のとおり入園願の受け付けをいたします。資格者全員の入園を期待していますので、早目に入園願を提出して下さい。

- 一、入園資格
 - 昭和五十三年四月二日から昭和五十四年四月一日までに出生した者
- 二、提出期間
 - 一月十七日から一月三十一日まで

日まで

三、提出場所

和島村教育委員会

入園願用紙は保育所を通じて該当幼児世帯へ配布しますので、必要事項記入の上、提出して下さい。

尚、配布もれの方がありませんら、お手数でも教育委員会へお申し出下さい。

四、その他

保育料その他につきましては、近くの区長さんを通じて、回覧文書でお知らせします。

保育所入所申請受付

昭和五十九年度和島村立保育所の入所申請を受け付けいたしますので、希望される方は、次により申請して下さい。

- 一、保育対象児
 - 昭和五十四年四月二日から昭和五十六年四月一日までに出生した児童。
- 二、申請期間
 - 昭和五十九年一月十七日から一月三十一日まで。

三、申請書等提出場所

関係地域の保育所

(申請書及び入所調査票は、役場及び各保育所に備え付けてありますので、印鑑持参のうえ、所定事項を記入し提出して下さい。)

不明な点は、役場福祉係、又は各保育所に照会して下さい。

1月の心配ごと相談

日時…17日、25日
午前9時から午後3時まで

場所…福祉センター相談室

内容…生活相談・医療相談・家事相談・児童相談・年金・身障相談・職業相談・その他なんでも

停電のお知らせ

東北電力(株)燕営業所

◇日時/1月19日(木)
午前9時～午後1時

◇地域/三瀬ヶ谷全域



サラリーマンの確定申告

大部分のサラリーマンの所得税は、十二月の年末調整でその年の納税が完了することになりますので、改めて確定申告をする必要がありませんが、例えば

- ① 給与収入金額が一、〇〇〇万円を超える人
 - ② 給与のほかに二〇万円を超える所得がある人
 - ③ 同族会社の役員やその親族など特定の人(①、②にかかわらず)でその会社から給与のほかに貸付金の利子・店舗・工場などの賃貸料等の支払いを受けている人
- 詳細は最寄りの税務署・税務相談室へお尋ね下さい。

運転が示す あなたの手柄

ご存知ですか!?

電気製品の修理

製造中止の製品でも部品は保存されています。



テレビが映らなくなった。掃除機が作動しなくなった。もう「寿命」かとあきらめる前に、プラグ・コード・スイッチ等を点検し、説明書を良く読んで故障かどうかを確かめましょう。

ハッキリ故障だと分かったら、販売店やメーカーのサービスセンターに修理や調整を依頼します。

修理を依頼する時は

電気製品は、製造が打ち切られた後も、補修用部品は表のように一定期間保存されています。修理を依頼する時には、商品の種類・型式番号・購入時期・

電気製品部品の最低保有期間 (すべて製造打ち切り後の年数)

9年	電気冷蔵庫	エアコンディショナー
8年	白黒テレビ	カラーテレビ
	オ扇風機	電気井戸ポンプ
	器 冷風扇(水冷式クーラー)	電子レンジ
6年	換気扇	電子ジャー
	サー 電気パネルヒーター	ズボンプレス
	ドファン	ラジオ
	電気洗濯機	電気掃除機
	サー・ジュース	電気がま
	こたつ	電気あんか
	電気ストーブ	電気かみそり
5年	電気ポット	トースター
	アイロン	電気こんろ
		ヘアカーラー

故障の状態・使用年数・故障歴を伝えます。その時に、料金を見積もってもらいます。修理後は、修理内容と請求金額の明細、領収書を必ず受け取り、保管しておきましょう。

若い人たちのなかには、年金は「遠い将来のこと」と考える人がいますが、老後の生活設計は、二十歳から真剣に考える時代がやってきたのです。



国民年金 豊かな老後は二十歳から

厚生省が発表した「五十七年簡易生命表」によると、日本人の平均寿命は男子七四・二二歳、女子七九・六六歳となっています。世界で一、二位を争う長寿国となりました。

核家族化や扶養意識の変化により、老後は子供と生活するといふことが少なくなっています。このような状況のなかで、年金は今後ますます長くなる老後の生活の安定に欠くことができないものとなっております。

◎60歳になる人
大正12・1・2〜大正12・2・1生まれ

◎65歳になる人
大正7・1・2〜大正7、2・1生まれ

老齢年金を請求しましょう。

1月中旬に
将来の生活設計をより豊かにするために二十歳から国民年金に加入しましょう。

成人の日を迎えられた皆さんに… 「あなたも検察審査員に選ばれます」

成人の日を迎えられた皆さんおめでとうございませう。成人の日を迎えられると選挙権を獲得されることはよく知られていますが、検察審査員に選ばれることはあまり知られていないようです。

『窃盗、詐欺、暴力、交通事故その他の犯罪で被害を受けた人で告訴しても検察官が、その事件を裁判にかけてくれない(不起訴処分)のために、犯人が処罪されず、納得がゆかない。』こんな不満のある人のために検察審査会制度があります。

検察審査会は、全国の地方裁判所の支部の所在地207カ所に置かれ、その地域内の市町村の選挙人名簿からくじで選ばれた11人の審査員が、民間人を代表し、住民としての健全な常識に従って、検察官がした不起訴処分が正しく行われているかどうかを審査するのが主な仕事としています。

あなたが検察審査員に選ばれた時は、検察審査会の役割を理解され、進んでこの務めを果たされるようお願いいたします。

検察官がした不起訴処分に不満を持っておられる方や、検察審査会についてもっと詳しくお知りになりたい方は、お気軽にご相談下さい。

○長岡市三和3丁目9番地28
裁判所構内 長岡検察審査会事務局
☎(長岡)35-2141

それぞれの持場で生かせ火の用心

ありがとうございました!

部落名	募金額(円)	部落名	募金額(円)
上小島谷	17,000	上 桐	47,000
中小島谷	21,500	三瀬ヶ谷	8,500
下小島谷	24,000	北 野	24,000
駅 前	53,500	根 小屋	10,000
下 富 岡	28,000	荒 卷	27,500
若 野 浦	8,000	新 田	13,000
阿弥陀瀬	15,500	中 央	21,500
高 畑	11,000	下 町 上	26,000
日 野 浦	24,500	下 町 下	31,500
中 沢	28,500	川 端	17,000
梅 田	10,000	道 城 下	17,000
東 保 内	33,000	法 善 町	11,500
村 田	34,750	寺 町	12,500
城 之 丘	20,000	小 谷	4,000
両 高	27,000		
坂 谷	7,500	合 計	634,750

共同募金 九一三、三三二円

十月一日から実施致しました、赤い羽根共同募金につきましては、区長さん初め事業所、学校、村民の皆さんの御協力により別表の実績をあげることができました。厚くお礼申し上げます。

募金は、新潟県共同募金会へ納金し、五十九年度にこの募金の配分金が和島村社会福祉協議会に、約七十万円交付され、本村社会福祉の財源として活用されます。

○戸別募金 六三四、七五〇円
 ○事業所募金 一九六、〇〇〇円
 ○学校募金 四二、六四四円
 ○その他 三九、九三八円

“歳末たすけあい募金”

歳末たすけあい募金につきましては、区長さん初め婦人協議会、日赤奉仕団、村民の皆さんの御協力により193,069円の実績をあげることができました。厚くお礼申し上げます。

募金は、和島村在宅の方と福祉施設に入所されている方々の歳末慰問に使用され喜ばれております。

なお一部は、災害時の義援金として使用させていただきます。

優良無事故運転者表彰

昭和五十九年の優良無事故運転者の表彰が実施されます。該当される方は、次により上申されますようお願い致します。

(五年表彰) 免許更新時窓口で年間を通じ本人の申請により交付
 (十年表彰) 十年以上の運転経験を有し、過去十年間継続して無事故、無違反で五年表彰を受けている者。
 (十五年表彰) 旧規程の七年表彰または、新規程による十年表彰を受けていること。
 (二十年表彰) 十五年表彰を受けていること。
 (二十五年表彰) 二十五年表彰を受けてから二年以上経過していること。
 (三十年表彰) 三十年表彰を受けてから五年以上経過していること。

二、連名表彰(警察署長と地区交通安全協会長の連名表彰)

昭和五十九年一月十五日、免許証、安全協会役員証、認印をご持参のうえ役場総務課までおいで下さい。

お気軽に御相談して下さい!

担当区域	部落	氏名
上桐、三瀬ヶ谷	上 桐	小 黒 勲
北野、根小屋、荒卷	荒 卷	阿 部 ケ イ
新田、川端、道城下	川 端	早 川 シズイ
中央、法善町、寺町、小谷	小 谷	長谷川 秀 郎
下町上、下町下	下 町 上	小 室 弥 右 門
上小島谷、若野浦、阿弥陀瀬	上小島谷	藤 田 久 四 郎
中小島谷、下小島谷、梅田	下小島谷	久 住 栄 子
駅前、下富岡	駅 前	塚 田 善 平
高畑、日野浦、中沢	日 野 浦	平 沢 蓮
東保内、村田	村 田	小 林 長 作
城之丘、両高、坂谷	両 高	山 口 艶 子

民生委員

昭和五十八年十二月一日付で次の方々が民生委員として厚生大臣より任命されました。

民生委員は、一定の生活状態を常に把握し、福祉に対する住民の適切な保護や指導に助力することが主たる仕事です。

また、児童委員も兼務されておりますので、お気軽に相談して下さい。


民生委員

スキーのつどい

参加者募集!

と き / S 59. 2 . 19 (日)
 と ころ / 須原スキー場 (北魚沼郡守門村)
 定 員 / 80名 (バス2台)
 参加料 / 1,900円
 対 象 / 中学生以上 (但し、中・高校生は保護者の同意を必要とします。)

申込み / 参加料を添えて1月31日(月)までに各部落の社会教育推進員、体育指導委員か直接公民館へ
 ○定員になり次第締切りますのでお早めをお願いします。
 ※ 申込み後の取り消しについては原則として参加料を返金しません。
 ○初心者・希望者には実技指導もを行います。
 ○申込み用紙は社会教育推進員、体育指導員、公民館にあります。



昭和五十八年十二月一日付で次の方々が相談員として和島村社会福祉協議会長より委嘱されました。

相談所は、毎月五日、十五日、二十五日に総合福祉センターで開設しております。(当日が日曜・祝日のときは、その翌日に開設)相談内容につきましては、生活、医療、家事、児童、身障、職業相談等いろいろな相談にのっております。

相談についての内容は、絶対に秘密にし、費用は、無料でですからご遠慮なくご利用下さい。

- ・塚田 善平 (駅前)
- ・久住 栄子 (下小島谷)
- ・長谷川秀郎 (小谷)
- ・菊地 弘 (北野)
- ・大矢 栄一 (梅田)
- ・佐藤 照子 (東保内)

心配ごと相談員

工業統計調査に御協力を!

製造業のみならず今年も工業統計調査が実施されます。この調査は、製造業を営む事業所を対象として、製造品の出荷額・原材料使用額・従業者数等を調査し、工業活動の実態を明らかにすることを目的としています。

調査結果は、国や地方自治体の総合開発計画や景気対策・中小企業対策等様々の計画や施策の基礎資料として利用されます。

12月31日が調査日のため年末年始のお忙しい中を調査員がお伺いしますが御協力下さいますようお願いいたします。調査員は次の方々です。

- ◎早川国彦 旧桐島地区(荒巻を除く)
- ◎塚田善平 小島谷郷・荒巻
- ◎矢沢健一 旧島田地区(小島谷郷を除く)

議会だより

12月定例会 (和島村議会事務局)

全議案が可決される！

○議案第五十七号 専決処分の承認を求めることについて(昭和五十八年度一般会計補正予算(第八次)について)(承認)

去る十二月十八日執行されました衆議院議員総選挙、最高裁判所裁判官国民審査の事務は村の選挙管理委員会に委託されており、急を要します。これらの一連の経費一、二五〇千円を専決処分し執行されたものであり、今回の議会で承認が求められたものであります。なお、この費用は全額国より交付されます。

○議案第五十八号 和島村職員給与に関する条例の一部を改正する条例について(原案可決)

昭和五十八年第四回定例会は、去る十二月二十二日招集され、期は二日間で開かれました。初日は、村長より提案された一般会計補正予算など十一議案が審議されました。その結果は承認一件、原案可決九件、継続審査一件となっております。

村長提出議案

○議案第五十九号 和島村の技能労働職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について(原案可決)

人事院は国家公務員の給与について六・四七%の引上げ勧告をしましたが、政府は財政事情等を理由として平均二・〇三%の改定を行うこととし、これらの法律は先の国会で成立しました。

村におきましても国・県に準じ平均改定率二・〇三%(四・七七一円)の引上げと若干の諸手当の引上げを四月にさかのぼり行うものであります。

○議案第六十号 和島村職員の定年等に関する条例の制定について(原案可決)

地方公務員法の一部改正にか、又村長は行政の立場から強力な指導がされるべきでないか。

○議案第六十一号 和島村防犯会議条例の一部を改正する条例について(原案可決)

防犯会議の構成委員の一部変更と任命にあたり、弾力性をもたせるものであります。

○議案第六十三号 和島村立和島幼稚園保育料徴収条例の制定について(原案可決)

昭和五十九年四月より開園されます村立和島幼稚園の保育料に必要事項が定められております。

これによりますと保育料は園児一人につき一律月額五、〇〇〇円と定められており、現行のへき地保育所保育料、県内幼稚園の保育料等を十分勘案の上定められました。

○議案第六十二号 和島村村税条例の一部を改正する条例について(原案可決)

従来から各部落住民の共有施設であります公会堂、集会所等については税法上は課税対象となっております。しかし、条例の定めにより申請によって減免措置がとられておりました。これを今回施設内容がそれに該当していれば自動的に課税が免除される扱いとされることになりました。

○議案第六十四号 昭和五十八年度和島村一般会計補正予算(第九次)について(原案可決)

今回の補正額は、一六二、九四五千円となっております。総額で一、五六〇、八九二千円の規模となっております。

歳入の主なるものは地方交付税留保分三四、二四四千元、駅前地区林地崩壊防止事業補助金六、六六〇千円、村債の繰上げ償還財源に充てるため財政調整基金二七、〇〇〇千円、減債基金九五、〇〇〇千円を取り崩すこととしております。

歳出の主なるものは、給与改定に伴う人件費不足分七、七三二千円、村債の繰上げ償還分一四八、八五〇千円、災

議事を傍聴しましょう!!

害復旧費工事請負費七、二八千円、その他上半期事務事業の完了による過不足分の増減となっております。

○議案第六十五号 昭和五十八年度和島村国民健康保険特別会計補正予算(第一次)について(原案可決)

歳入歳出それぞれ一五、三〇四千円を増額し、総額二四九、七四四千円となっております。歳入では医療費の横ばい状態から当初計上しました給付準備基金繰入金一、〇〇〇千円を減額し、五十七年度決算に基づく剰余金二七、三〇四千円が計上されています。歳出では給付準備基金へ積立て一〇、一五八千円、前年度療養給付費負担金精算返納分三、六九二千円、その他若干人件費、療養費等不足分が計上されております。

○議案第六十六号 新潟県消防団員等公償組合規約の変更について(原案可決)

新たに消防団員、吏員に対し「殉職者特別賞じゅつ金」制度が設けられ、この事務を公償組合で共同処理するため規約の一部を変更しようとするものであります。

一般質問

○議案第六十七号 村道路線の認定について(継続審査)

東保内十六号線は、地域の重要な生活道路であり村道として認定するに当り議会の議決が求められましたが、産業土木常任委員会に付託され継続して審査することとされました。

一、質問要旨

五十九年度予算編成に当り行政改革にどう対処されていくか、重点施策はなにか。

○村長答弁要旨

行革については、現行定数管理の中でこれに対応し、事務事業の増に対しては民間委託、機械化の検討なども併せて考え、経費の節減、補助行政の見直し等も図っていきたい。重点事業は島田小学校プールの建設、教員住宅用地取得をすすめ、六十年は統合保育所の建設を計画している。来年は財政調整の年にしたい。

二、質問要旨

総合開発計画にある教員住宅整備事業を五十九年度に繰上げ実施できないか。

○村長答弁要旨

教員住宅については五十九年度中に用地を取得し、六十年に建設したいと考えている。

三、質問要旨

場所が三校へ通いやすい駅周辺が適切と考えられる。

○村長答弁要旨

不足のむきがあれば具体的には商工会の意見も聞き、県にも増額要望し対応していきたい。

四、質問要旨

低所得者の住居について村長はどのように考えておられるか、村営住宅の長期計画はどうか。

○村長答弁要旨

現在のところ希望者があるかないか把握していないのが現状であり、十分調査し、あるとするなら前向きに検討していきたい。

五、質問要旨

行政が一体化しているのに農協が合併できないのは何故か。

○村長答弁要旨

農協も合併の必要性は認識しておられ、昨年話し合いの場も持ってもらったが、現在取り組んでいる事業等にも若干の相違があるようです。合併の方向へすすめて行くか、と言う意欲はもっているが、農協自身の問題でもあり何年後どうするとは申し上げられない。

六、質問要旨

与板郷消防が定着した中で村消防団の見直しはどうか。

○村長答弁要旨

村消防団は火災のみでなく、水防その他災害活動の中核であり、今これに代るべきものが見い出されなければ大切な役割を担っている。今すぐとはいかない。

七、質問要旨

農村総合整備モデル事業は、十カ年で十五億円の事業費と聞いているが、財源内訳と受益者負担等はどうか。又、事業実施により逆に地域格差が広がらないか。

○村長答弁要旨

この事業は大きく分けて三つの事業からなっており、農業生産基盤整備事業、農村環境基盤整備事業についてはそれぞれ国五〇%、県二〇%の補助となっており、農村環境施設整備事業については国五〇%、県一〇%の補助となっている。残り三〇%ないし四〇%は事業の内容により、村と地域受益者から負担願うこととなります。又一カ年平均事業費は一五〇、〇〇〇千円であり、その三〇%から四〇%は毎年十分対応は可能と考えられます。

また、この事業により地域格差をなくすることが第一であり、道路等も整備され施設が中心にあるからそれが必ずしも一言で格差が開くと言いうことにはならないと考えます。



議事を傍聴しましょう!!